

## 平成30年度 可燃ごみ組成調査結果(11月2日～11月26日)

### 【調査結果の概要】

生ごみ：37%、古紙類：12%、オムツ・プラスチック製容器包装：8%の順であった。

生ごみバケツ設置地区でも、生ごみの混入が同等に見受けられる。

プラスチック製容器包装や古紙類を使った製品が多いことが特徴であり、資源物としての認識が薄いことや分別方法を理解できていないものと考えられる。

	6地区合計		H29年度の結果	
全体	486.76kg	100%	501.1kg	100%
生ごみ	179.0kg	36.77%	154.4kg	30.81%
オムツ	40.8kg	8.38%	45.7kg	9.12%
草木類	22.0kg	4.52%	25.6kg	5.11%
可燃ごみ	126.3kg	25.95%	177.0kg	35.32%
不燃ごみ	0.4kg	0.09%	1.2kg	0.24%
古紙類	56.1kg	11.53%	50.8kg	10.14%
紙パック	2.8kg	0.58%	0.9kg	0.18%
ペットボトル	1.6kg	0.33%	1.2kg	0.24%
空きびん	0.1kg	0.02%	0.6kg	0.12%
古繊維類	19.8kg	4.07%	6.5kg	1.30%
空き缶	0.2kg	0.04%	0.4kg	0.08%
金属類	0.0kg	0.00%	0.1kg	0.02%
使用済小型家電	0.2kg	0.04%	0.3kg	0.06%
プラスチック製容器包装	37.4kg	7.68%	36.3kg	7.24%
乾電池・蛍光管	0.0kg	0.00%	0.1kg	0.02%

